

感染症情報 2月3日～9日

府下小児科193医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,406例(堺市 108例)
②RSウイルス感染症	339例(堺市 20例)
③溶連菌感染症	292例(堺市 40例)
④咽頭結膜熱	61例(堺市 3例)
⑤突発性発疹	43例(堺市 2例)

府下301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 706例(堺市 83例)

報告数による順位。前週比0.5%増の2,229件であった。感染性胃腸炎が府下で前週から6例増、堺市で前週121例→今回108例。RSウイルス感染症が府下で2%増、堺市で前回19例→今回20例。溶連菌感染症が府下で今回も前回と同数、堺市で前週50例→今回40例。咽頭結膜熱が府下で56%増、堺市で前週2例→今回3例であった。

流行性角結膜炎の定点あたりは8位まで後退した。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で前週・今回とも9例。堺市で前週5例→今回0例であった。

インフルエンザが府下で前週1,005例→今回706例で30%減。堺市は前週135例→今回83例で39%減。定点当たり大阪府は2.35、堺市は2.86であった。

府下301医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,201例(堺市 149例)
大阪府定点 3.99 堺市定点 5.14

0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
51	107	145	233	78	99	110	110	72	92	104	1201

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,293例→今回1,201例で7%減、定点当たり4.30→3.99であった。堺市で前週125例→今回149例で19%増、定点当たり4.31→5.14であった。大阪府のブロック別でワースト2位。

麻疹はなかったが、風疹が1例あった。